

移住は我國に利益ありて弊害なし
我國目下の形勢より見るに人民として海外に移住せしむるは第一の急務あるものと我輩の首唱する所にして世間或は移住以て人口を減ずると聞き恰も國の所有を失ふが心地して悦ばざる者もあらん蓋し我輩の往古の經濟家を學ぶ者もあらず國に人口の多きを以て富強の根本と認め全國を奉りて一大貧院と爲し以て得々満足する者にあらざれば漫然たる世間の人口の減少を恐るゝが如き痴言は之を顧みずと雖も稍や上流の學者社會に於て移住の害を陳べ移住の本國の資本と壯丁と併せて之を失ふものありとて西洋學者の或る部分にても竊に之を忌む者ありとのまどなれば其啓蒙の助けにもと思ひ西洋諸書を引用して一言を呈せること左の如し

獨逸學士ロスマチエルの曰く海外に移住する者を見るに僅に財產ある強壯の男子最も多しと其財產なき貧民に至ては海外に赴くは旅費を既にして海外に赴くも土地を購ひ家屋を建てるの資本なきは態々遠地に飢死を求むるに似たるが故に貧民は移住するの氣力なく假令へ氣力あるも其資本を得ずして止むのみ又老幼羸弱及女子も於けるも同様なれば畢竟する所、海外に移住する者は本國より實際に入用なる人物最も多ければ盛に人民をして海外に移住せしむる時其本國自から衰微して農工商業共に退歩する可しと此説を贊成する者は其例證として獨逸列邦メッセルホルグの歴史を引用するを常とす昔時該邦より多く海外に移住せしに該邦の農業忽ち退歩せし即ち強壯男子多く本國に去て其跡に残る者皆老幼羸弱及び女子なりしに由ると云ふ又ロスマチエルの曰く右の如く無用の人物が社會に多くして入用の人物少き時は窃盜詐欺などの惡事盛に流行するのまらざる女子の數、男子より多くして忽ち八々の内行と傷ひ更に恐るべき惡事も之に伴ふて流行するを免かれずと此説を贊成する者は其例證として左の一事を引用するものとあり獨逸列邦メッセルホルグにて千八百五十年以來人民が多く海外に移住きたるに付六十五年に女子の數、大に男子より多くして女子既に婚期を達せながら未だ長人を待てる者凡そ其六分一なりと云ふ

以上、海外移住と非難する者の根據とする所にして雖にても海外移住の利害を考ふる時は直に此弊害を見出す可しと雖も又一方より反對の諸説と案をれば左で恐るゝ不足らず蓋しロスマチエルの言ふ所を分析すれば第一海外に移住する者は強壯の男子最も多しと爲すが如しと雖も之を米國の移住に徴するは海外各國より多く米國に移住せし以來男女の割合を見れば平均男六十二人女三十八人の割合にして其中支那人は男子甚多くて女子甚少く平均男九十三人女七人なれば此人數を差引するに其餘移住人民男女の割合は左で差異なくアメリカ人の如きは男五十五人女四十五人の平均あり又年齢の割合を見るに移住男女百人に付十五歳以下凡そ二十五人、十五歳以上四十歳以下六十八人、四十歳以上五十五歳は強壯の男女割合に多きが如きも亦支那人を差引するに左で其割合に多少あるを見ず是に由て觀ればメッセルホルグ及びメッセルホルグの如きは之と非常の一例と云ふ可きものにして必ずしも常に移住に伴ふ弊害とするに足らざるあり第二海外に移住する者は聊か財產ある者とするが如し是れ誠然り彼の赤貧洗ふが如き者は國內に於てすら一歩も東西に運動する能はず況して海外に赴くといは

輩に望む可からざれども若しも財產に富む者が資本を投じて此輩の移住と促がすときは其富人も亦移住より生ずる利益の一部を分得るの目算る可きが故に獨逸の如くは利の目的として此種の會社を設立する者ありと云ふ且今日まで米國へ移住する人民を見るに其本國を去る時に所有する財產は毎戸平均八十圓なり此八十圓の財產ある者が米國に來れば數年おらずして平均八百圓の家を成すと云ふ故に貧民の移住は僅に少數の路費を費せしみにして富有の種族は徒ら墳墓の地と去りて異郷の辛苦を求るものもなかる可ければ移住の爲めに本國に資本と失ふとの心配は先づ以て無用の沙汰なり

斯くの如くロスマチエルの立言に根據とする所のものは既に實際に於て證を可とざるが故に此移住の爲めに農工商業退歩の懸念もなければ亦社會に惡事流行し必配も無用なり加之ならず農工商業共に移住の爲めに盛大を致すことなきにあらざる故に人民が海外に移住するも猶本國の風習と保存するは自然の勢なきは隨て本國の物産を需用し貨幣を海外に得て之を本國に費し工商兩業を獎勵するの一端とあると常とす又我日本國の如き農國に於て農事の改良進歩を謀るは農夫に十分の耕地を授けて隨て其生活を厚ふするの工賑なるべからず限りある耕地に限りなき人口を増殖せしめて徒に貧民の群集を成すが如きは農政の巧なるものにあらずるなりアイランドにては前年は人口多しとして土地の狹窄と思ひたどしが爾來その人民が漸く米國へ移住せしより大に農事の面目を改めたるの事實ありアイランドの耕地反別は千八百四十三年に千三百四十六萬四千エーカーありして農民の毎戸平均二エーカー半に當り其收穫の價值二千三百七十五萬八千ポンドありしが其後大に農夫を減じて跡に残る者共は漸く耕作の區域を廣くし隨て餘財を得るが爲めに農具も改良し荒地をも開拓して千八百七十六年に耕地反別千五百三十四萬五千エーカーありて毎戸平均四エーカーに當り其收穫の價值三千六百四十七萬ポンドに上りしと云ふ亦以て一事例とし見る可きものなり左れば人口過多なる國に於て移住を勧るは直接間接共に本國に利するものと知る可し

○辭令
控訴院評定官 井上 操
第二期第二十三號大井憲太郎外六十三名被告事件臨時大坂重罪裁判長 命ス
(各通)
控訴院評定官 臣 佐武 茂
第二期第二十三號大井憲太郎外六十三名被告事件臨時大坂重罪裁判長 命ス
非職元宮内省四等出仕 川田 剛
尋常小學校作文授業用編輯委員審查委員長 櫻托
(各通)
理科大學教授 矢田部良吉
第一高等中學校教授 神田 乃武
高等師範學校教授 磯野徳三郎
第一高等中學校教授 大槻 文彦
文部省 山根 一遊
高等師範學校訓導 篠田 利英
尋常小學校作文授業用編輯委員審查委員長 命ス
文科大學講師 坪井九馬三
明治二十年尋常師範學校尋常中學校高等女學校教員學力試驗委員 命ス
文部省視學官 野村 綱
埼玉縣群馬縣栃木縣靜岡縣下巡迴 命ス
○軍醫 無城 命ス
○山形縣 山形縣管内現在捕虜數(去る一月一日現在)十一萬

○東亞貿易會社 大坂の東亞貿易會社にては今度清國北京及び天津とに爲換事業を開かんとして過日其筋へ出願し此項許可にありたる由なるが元來同社の唯依託品賣買の目的を以て資金僅か三萬圓を以て開業したるも其の右爲換開業の爲に更に資本金七萬圓を増加し爲換信託當の爲に公債證書を買入れて政府へ上納する事となせり又同社にては此程日本郵船會社と特約を結び天津まで一噸に付東京より六圓大坂より五圓長崎より四圓にて特別の貨物の運送を爲し居たりしが何分汽船にては運賃の高價なるに依り航前船二三艘を新造して絶へず航海を爲すの計畫あり又同社にてはこの頃社内共樂館あるものと設け去る七日を以て其開館式を舉行するが同館は支那人と本邦人の會合場宛るものにて貨物見本の點檢より賣買の紹介等を爲すの目的あるが同日は朝鮮の紳士及び支那人數十名を招き盛んなる會合を催さるるよし

○石見國大森鎮山 同鎮山の元と幕府の所轄にして古來有名の鎮山なりしが近年は頗る衰頹と極め二三の小借區にて姑息の採掘を爲し居たるが昨年大坂の藤田組にて右の借區を悉く譲り受け更其近傍十萬坪程の増借區を購出でたりしが又同國に鎮山山前堀某外一名も同山にて鑛業を起さんとて新規に借區を購出でたりしが堀某等の願書は却下とありて藤田組の廣田茂二郎氏へ許可せられたり然る堀某等は同地人民と契約したる事等として同人民と相手取り二重約束調印取消の訴を起し目下濱田始審裁判所に於て審理中なるよし

○大坂相場師の拘引 大坂よりの報知又々同地堂嶋米商會所の近傍に於て現金相場と唱へ空相場同様の事と爲し居たるものありて去る六日午後三時頃同地北署署より特務巡查が何れも角袖にて同所へ出張し現場に居合たる者を拘引し又其家宅と搜索して證據物と引上たるが其拘引されたるものは宮田重太郎外十一名ありしと

○富山縣會館事堂 同縣の監獄署は縣廳の構内に在りしが今度上新川郡大深野に移轉せしむるに在りて該地の開墾に従事せしむる等にて同所跡には金五萬圓と以て縣會館事堂を建築するといふ尤も建築請負人は先頃出京中ありし國重同縣知事の照會を得て府會館事堂厚生館其他各區會館事堂等の圖面を取りて歸郷したるよし

○鎌瀨の景況 北海道小樽邊の漁人が初編網と投入する事は既に前號の紙上に記載せしが又本月七日の函館新聞と見るに去る五日午後四時暮都の電報に今年後二時建網十三枚にて練三百石収獲せりと記したる由記載せり

○大坂川口の景況 此大坂よりの報知に據れば近來商勢の稍や好氣配に傾きたる上長冬更の更り時に際してれば内地東北下筋よりの注文は近年に稀れかる多額にて去年に當時に比すれば大坂川口より積出す諸荷

物は凡三割餘が支那北部に輸送せしが同輸出總原價は月より四萬九十一萬三千七百七千四百四十

○岐阜通信 (一) 深谷内務廳を以て深谷川筋今七日は水曾出町の秋琴樓に西京へ赴く等々

○大日本農會の (田中芳男) 白濁井に牧場取扱の弱に關す(村上三郎) 農事改革(次郎) 等なり

○俗名田五郎 同地は明治戊辰未終に城池を改め一命を遺へり故郷に歸りたるがからす其後同地目下京都修學院に在りて其母の病中なりと云ふ

○人命救助 去川助一丁目廿三落したるを幸に忽ち飛入りて救出せり(東京) 年頃盜案(横濱) 都町監獄(出獄) 許さる(去る) New doctor, No wonder, How, What you, I get a dollar bill, I go home, 紅いこの口へ、受付「ツイそう、歸りたまらぬ、けと表の郵便箱

田口卯吉著 中根淑先生註
全六册
改正價一册金十五錢ツ
一册付 郵税六錢宛
定價一册金二十錢宛

廣告
當會社假株券本株券交換之儀ハ昨十九年七月各新聞紙ヲ以テ廣告致シ尙其後交換未済之分ハ再三書面ヲ以テ御催促候得共尙未テ交換不相續分モ有之候付來

東京師範學校
四月十二